

教育委員会会議録（12月定例会）

日 時

令和7年12月25日（木）
午後1時30分から午後1時55分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久
委 員	額賀 隆

委員以外の出席者

教育部長	作山 直弘
次長	大内 弓子
理事	窪田 康徳
総務課長	西 勇人
学校施設課長	富岡 道雄
学務課長	北見 裕
学校再編課長	酒地 康彦
生涯学習課長	根田 容子
スポーツ振興課長	市原 慎也
指導課長	青木 房子
記念図書館長	佐川 正城
郷土博物館長	鈴木 弘嗣
北部学校給食共同調理場長	小林 健児
教育研究所長	諸橋 正和
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

議 事

報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

議 案

議案第54号 日立市児童生徒等の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について

その他の

- (1) 令和7年第4回市議会定例会について
- (2) 令和8年度日立市奨学生の選定状況について
- (3) 令和7年度日立市優秀教職員等褒賞事業の受賞者について
- (4) 令和8年度日立市立幼稚園等の園児募集の結果について
- (5) 第5回日立市長杯ラジオ体操コンクールの実施結果について

会議の概要

1 開会

教育長 ただ今から、教育委員会12月定例会を開会します。

本日は、傍聴希望者が1名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全委員 結構です。

2 報告

報告 第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

教育長 まず、報告第12号について、御意見等はございませんか。

全委員 特にありません。

教育長 それでは、本件については、承認されました。

3 議案

議案 第54号 日立市児童生徒等の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について

教育長 続いて、議事に移ります。

議案第54号について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 櫛形小学校と山部小学校の統合に伴い十王小学校の学区を定める等のため、本規則を制定するものであります。

次に、改正文です。

令和8年4月1日から、櫛形小学校と山部小学校を統合し、新たに十王小学校を設置することから、影響を受ける十王中学校の学区も含め、改めるものです。

まず、別表1は、小学校の学区を定めるものであり、学校名を櫛形から十王に改めるとともに、同校の学区に山部小学校の学区である十王町山部を追加するものです。

次に、別表2は、中学校の学区を定めるものであり、十王中学校の学区を、櫛形小学校及び山部小学校の学区としていたものを、両校の統合校である十王小学校の学区と定め、改めるものです。

また、様式第1号及び様式第2号以下の様式改正につきましては、国が進める自治体情報システムの標準化に伴うものとなります。

システムの標準化とは、住民の利便性向上や行政の効率化を目的

として、全国のどの自治体でも同じシステムを利用できるようにする取組です。

対象事業は、住民基本台帳や個人住民税、国民年金や国民健康保険などの業務となり、学務課が所管する就学に関する業務も対象となることから、市の規則で定めていた様式を、国の定める様式に改めるものです。

施行期日は、十王小学校及び十王中学校の学区に係る規定は、令和8年4月1日から施行し、自治体情報システムの標準化に伴い、様式を改める規定は、当該システムへの移行日である令和8年1月3日です。

教 育 長 それでは、議案第54号について、可決することでよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第54号については、原案可決と決しました。

4 その他の議題

(1) 令和7年第4回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。

その他(1)について、御質問や御意見はございますか。

委 員 オンライン教育による不登校支援については、今後の不登校支援において重要な支援になってくると思います。

メタバースを活用した不登校支援について、帯広市を参考にされているみたいですが、現時点での進捗状況を教えていただきたいです。

教育研究所長 不登校支援に関しては、本市においては、不登校児童生徒が安心して学び、社会とのつながりを保てるよう、様々な支援を行っています。

具体的には、保護者が参加しやすいように週末に開催している研修会のほか、調理活動、助川山への登山など、不登校児童生徒の支援に励んでおります。

メタバースを活用した支援については、先進的な取組を行っている帯広市の事例を参考に、情報収集しております。

帯広市は、東京23区より広域で、冬季には積雪の影響で、通学が困難になる地域も多く、教育支援センターが1か所しか設置されてないことからも、仮想空間を活用した支援が有効な事例となっていることが分かりました。

この背景は、本市とは異なる部分もありますが、ＩＣＴを活用した柔軟な支援の可能性を示す好例であるととらえています。

一方で、メタバースの効果を客観的に示すためには、個別かつ具体的な調査分析が必要であり、現時点では、その効果を裏付けるエビデンスの提示が難しい状況です。

埼玉県では、本年度の9月から令和8年3月までの6か月間、教育メタバースを活用した実証的な取組が行われていますが、全国的には取組が進んでいない自治体が多く見られます。

メタバースの教育利用は、効果測定が難しいからこそ、広域でのデータ収集や分析が可能な都道府県単位での事業化が有効であると考えています。

今後も各自治体の動向を注視しつつ、本市における導入の可能性について、引き続き調査研究を進めてまいります。

委 員 市内小・中学校において、昇降口の開錠前に登校して、児童生徒が昇降口前で待機しているケースを確認されていると答弁されていますが、朝の時間における子どもたちの居場所整備について、保護者の方から御要望はありましたか。

学 務 課 長 本市では、児童生徒が正門前で待機しているというような危険な状態を避けるために、正門を開ける時間を早めに設定して昇降口前などの安全な場所で待機するように対応しております。

現段階では、教育委員会及び学校に、保護者から朝の時間における子どもたちの居場所の整備についての直接の御要望はありません。

(2) 令和8年度日立市奨学生の選定状況について

教 育 長 次に、その他(2)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 1番、概要です。

来年4月の進学予定者を対象に、奨学生の応募受付、選定作業を行ってきたものです。

8月の選考委員会では、応募者34人全員が選考基準を満たしておりましたので、全ての方を選定することといたしました。

その後、11月に利用意向調査を行ったところ、1人が利用意向を取り下げ、選定人数は33人となりました。

2番、募集及び選定の状況です。

応募があったのは、高校奨学生1人、大学奨学生33人で、合計34人となり、現在の選定人数は、取り下げが1人おりましたので、合計33人でございます。

3番、選定の経過等です。

例年どおり、5月から7月にかけ、応募受付を行い、8月には書類審査、個別面接を行ったほか、選考委員会を開催しました。

9月に選定結果をお知らせし、11月の利用意向調査を経まして、現在は、隨時、合格通知書などを提出していただいております。

来年3月に、令和8年度奨学生を最終的に決定する予定です。

参考の表は、近年の実績であり、30人前後から40人台前半までの間で推移しております。

(3) 令和7年度日立市優秀教職員等褒賞事業の受賞者について

教 育 長 次に、その他(3)について、学務課長から説明をお願いします。

学 务 課 長 本事業は、本市教育の振興発展に寄与した学校及び教職員を褒賞することにより、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、先進的な実践を共有し、本市教育の振興を図るもので、平成22年度から実施しております。

対象は、学校の部が市立の小・中・義務教育、特別支援学校及び幼稚園、教職員の部は、対象の学校、幼稚園に勤務する教職員で、常勤、非常勤等は問わないこととしております。

次に、受賞者です。

それぞれの分野で特に顕著な成果を上げた学校教職員につきまして、教育委員会事務局の部課所長で構成する審査委員会が審査及び内申し、教育長が決定したものでございます。

今年度は、学校の部で3校、教職員の部で11名が受賞しております。

受賞理由等につきましては、表に記載のとおりです。

学校の部においては、県の事業を活用して、学力向上のためのオンライン配信、生成AIを活用した授業づくりに取り組んだもの、茨城県NIE推進協議会のNIE実践指定校として、新聞の特性を生かした教育の実践に取り組んだものなど、学習指導の分野における取組となっております。

また、教職員の部においては、学習指導をはじめ、特別支援教育、健康教育、栄養教育、不登校生徒支援や学校環境整備など、幅広い分野から受賞者が出ており、日頃の業務に取り組む姿が、各学校の校長先生に評価され、推薦をいただいたものです。

なお、表彰は教育長名で行い、表彰式は1月13日火曜日の第2回、校長園長連絡会議終了後に執り行う予定です。

委 員 学校に勤務する様々な方々が表彰されることとは、素晴らしいことだと思います。

本市教育振興の発展のために、学校や地域、日立市全体に寄与していくことを望んでいます。

委 員 幅広くたくさんの先生方に目を向けていただいていることが分かりました。

様々な先生方がいらっしゃるかと思いますが、お互いに励まし合いながら頑張っていただければと思います。

(4) 令和8年度日立市立幼稚園等の園児募集の結果について

教 育 長 次に、その他(4)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 1番、日立市立幼稚園、認定子ども園（1号認定）の募集の結果を御覧ください。

4つの園の1号認定について、園児募集を行いました。

合計の欄に記載のとおり、4歳児クラスが25人、5歳児クラスが1人の計26人で、前年と同数の入園希望者がございました。

また、令和8年4月の園児数見込みですが、受付人数と進級する園児数の合計となり、見込み数は合計49人で、前年の70人と比較して、21人少なくなっています。

次に、2番の私立幼稚園、認定子ども園（1号認定）の応募状況でございます。

幼稚園5園、認定子ども園14園の合計19園の受付人数は、3歳児から5歳児の合計で145人であり、前年と比較して31人の減少となっております。

進級する在園児を含む、来年4月の園児数の見込みは、665人となっており、前年と比較して109人少なくなっています。

(5) 第5回日立市長杯ラジオ体操コンクールの実施結果について

教 育 長 次に、その他(5)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 今回は、40団体、1,067の方から応募があり、応募団体の中から事前に動画審査により予選を通過した、5つの部門、上位3団体、合計13団体が出席しました。

高校生・大学生・専門学生の部及び地域団体の部においては、コンクール当日の出場が難しい団体があり、それぞれ2団体の出場となりました。

実施内容につきましては、各団体が部門別に団体の紹介と、ラジオ体操第1の演技を行いました。

6名の審査員が出席団体の演技について、正しい姿勢でリズミカルに行っているか、腕をまっすぐに伸ばして大きく回転しているか

など、10項目の基準に基づき、審査を行いました。

なお、今回も特別審査員として、全国ラジオ体操連盟からNHKテレビラジオ体操指導者の岡本美佳先生にお越しいただきました。

実施結果は、表に記載のとおりです。

教 育 長 補足説明です。

事業所の部優勝の河原子グルグルというチームは、河原子小学校の職員チームで、小学生の部優勝の河原子海っこチームは、河原子小学校の児童で構成されたチームとなっております。

そのため、河原子小学校は、児童と職員でダブル優勝を果たしたということですが、印象に残ったのが、最初に小学生の部で優勝が決まって子どもたちも喜んで、事業所の部の発表になった際に、河原子小学校の児童たちが、手を合わせて、先生たちの優勝を願っていたという姿が非常に印象的で、子どもたちと教職員の関係が良好だということを感じた瞬間でした。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和8年1月22日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了いたします。

以 上